



三つのスタンプラリーを紹介するHPはこちら



そんな大津では、夏から現在に至るまで歴史と文学に育まれた町として知られています。

### 文学の聖地巡り (大津市)

## スタンプラリー3種 楽しんで



大津市内を走る「成瀬は天下を取りに行く」のラッピング電車

大津市内で楽しめるスタンプラリー



2024年本屋大賞を受賞した青春小説「成瀬は天下を取りに行く」(宮島未奈)が案内!! 京阪電車でめぐる沿線スタンプラリーです。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【アクセス情報】びわ湖大津観光協会は、大津市御陵町の市民文化会館内。京阪電車大津市役所前駅から徒歩約5分、JR大津駅から徒歩約15分。 観光協会 || 077(528)2772

秋にかけて文学作品ゆかりの地を巡る三つのスタンプラリーを実施しています。一つ目にご紹介する「びわ湖大津しきぶらりー」は、紫式部が過ごした日々を思いをさせて、四季折々の大津をぶらりと旅するスタンプラリー。石山寺をはじめ、紫式部ゆかりの地や地

元々のグルメ、アクティビティを満喫できる場所が対象地となっています。歴史的背景を知るのもよし、好みのアクティビティやグルメを楽しむのもよし。多様な楽しみ方ができます。続いては「塞王の楯」ゆかりの大津スタンプラリー「塞王の楯」(今村翔吾)

著)は、石垣職人「穴太衆」と鉄砲職人「国友衆」の宿命の対決を描く戦国歴史小説で、第106回直木賞を受賞しました。作品の舞台となった近江の国・大津を巡るスタンプラリーは、作中にも登場する「穴太衆積み」や呼ばれる自然石を巧みに積み上げた石垣が見られるスタンプポイントにあります。著者書き下ろしのオリジナルご城印はぜひゲットしてもらいたいです。最後は「びわ湖大津観光大使「成瀬あかり」が案内!! 京阪電車でめぐる沿線スタンプラリー」です。

夏と秋の思い出づくりに「文学の聖地・大津」を巡ってみては。(びわ湖大津観光協会・高木圭一郎)